

# 鬼塚電気・鬼塚産業本社ビル



## 施設概要

新築/改修	新築
所在地	大分県大分市
地域区分	7地域
竣工年月	2021年1月
発注者	(有)尾野商事
設計者	東九州設計工務(株)
施工者	(株)清水建設

建物用途	事務所
建築面積	1,135㎡
延べ面積	2,661㎡
構造	鉄筋コンクリート造
階数	地上3階
ZEBランク	『ZEB』

## 建物仕様

屋根	ウレタンフォーム 40mm
外壁	ウレタンフォーム 40mm
土間下	押出法 <sup>※</sup> ポリレンフォーム3種 25mm
窓	アルミサッシ Low-E複層ガラス (Ar16)
遮蔽・遮熱	日射追従型外付けブラインド 屋上緑化

空調	パッケージエアコン
換気	—
照明	LED照明器具
給湯	ヒートポンプ給湯器
昇降機	VVVF制御 (回生あり)
創エネ	太陽光発電 105.64kW
その他	BEMS

## 設計コンセプト

1955年4月創業、電気工事、通信工事、管工事、IT工事を行う会社である。既存社屋の老朽化を受け、新社屋をモデル施設とした自社の得意分野づくり、新しい建築技術の取得、技術社員の強化、社員のやりがい創出等の観点から、『ZEB』に取り組むことを決めた。『ZEB』を実現するために、環境省の「令和3年度レジリエンス強化型ZEB実証事業」の補助金採択を受けている。

脱炭素社会に向けた建物の省エネルギー化以外にも、社屋周辺が津波の浸水エリアに指定されていることから、災害時に社員や近隣の方々が避難できる「津波避難ビル」としての役割を担っている。また、地域資源の活用として、屋上緑化には地元里山の植物を採用、大分県産材の杉を内装材や家具に使用することで、木質化による快適な執務環境を構成している。

## グリーン化の取り組み

- ・日射遮蔽に、日射追従型の外付けブラインドを採用し、照度、温度、風向風速等の各種センサーによる自動制御を行っている。
- ・昼光利用として、光ダクト、トップライト、ライトシェルフを採用し、自然採光を確保している。
- ・創エネルギーの設備として、太陽光発電の他に、レンズ風車による風力発電、グリーン純水素発電を採用。曇天・雨天の停電時、台風停電時の太陽光に期待できない場合のバックアップ体制を整えている。

設計一次エネルギー消費量 [MJ/㎡・年]

